



【地域の歴史をさぐる！学習支援展示「大昔の暮らし」開催中】

みなさんが住んでいる松阪市には、どれくらい前から人びとが生活していたかご存知ですか？
発掘調査の結果から、古いところでは約1万年も前から人びとが住んでいたことがわかっています。では、大昔の人びとはどのような住居に住み、どのような道具を使い、何を食べていたのでしょうか？ そのような疑問にお答えする学習支援展示「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる」を、現在にはにわ館第2展示室で開催中です。展示室には、松阪市内の遺跡から出土した土器や石器といった遺物、当時の暮らしを再現した模型を多数展示しています。普段の生活ではなかなか見ることができない、本物の遺物が多く展示されています。ぜひ、この機会に見学にお越しください。

○展示物をちょっとだけ紹介します



この埴輪は、常光坊谷4号墳という古墳から出土したもので、男性の姿をかたどったものだと考えられています。その姿をくわしく見ていくと、顔の横に垂れ下がった髪が、首の横で折り返され、束ねられていますね。このような髪形を美豆良（みずら）といいます。また、顔を見ると、目の下あたりに線で模様を描かれていますね。これは、刺青を表していると考えられます。

私たちは、当時の人びとがどのような

姿をしていたのか、写真が残っているわけではないので正確に知ることはできません。しかし、このような埴輪などに残された手がかりを一つひとつ積み重ねることで、当時の人びとの髪形や風習を知ることができるのです。だから、みなさんも、ぜひ展示物をじっくりと観察してみてください。何か新しい発見があるかもしれませんよ！（担当）

【五月の風 ふたたび 2017…】

爽やかに吹きわたり、頬をなでる風は今も昔も同じ。野山の緑の香りをいっぱい含んで、わたる風は初夏の前触れ…。野や里のもえ出する若葉は美しく、躍動感にあふれている。その爆発的な生長に驚かされる。

わたしたちは古くから四季の移り変わりを目の当たりにして、人智を超える何かを感じてきた。すべてのものに神宿るとの思いとともに、常に畏敬の対象として自然に接し、自然と一体となって命を繋いできた。そういった古代からの流れは今も続いている。

しばらくすると草いきれに圧倒される日々の到来だ。

5月のはにわ館では常設展示「宝塚古墳の謎」とともに、学習支援展示「大昔の暮らし」を引き続き開催しています。大昔の人々の生活や知恵をぜひご覧下さい。

市民ギャラリーでは市民の皆さんの油彩画、日本画、水彩画、水墨画の展覧が続きます。さらに、写真、押し花の作品展です。ぜひお出かけ下さい。（所長）



文化財センター はにわ館 & ギャラリー 5月の催し物予定

5月の休館日は8日（月）、15日（月）、22日（月）、29日（月）です。

開館時間は 9:00～17:00 です。

【はにわ館】 入館料 100 円（18 歳以下無料） * 入館は 16:30 まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■学習支援展示「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる 縄文・弥生・古墳時代～」 4/15（土）～6/25（日）

★ワークショップ「アクセサリを作ろう！（勾玉ネックレス）」を“第3ギャラリー”で実施！

※5/3（水）～7（日）10:00～15:30（受付は15:00まで）／予約不要／参加費100円

※5/3（水）、5（金）、7（日）の午前中に限り、勾玉づくりも合わせて行います。

【ギャラリー】 入場無料 * 最終日は 16:00 まで

第2G ■第41回松阪公民館絵画グループカンバス展 5/7（日）～14（日）9:00～17:00 *最終日は16:00まで

第1G ■CANON PHOTO CLUB ISE #5 PHOTO VISION 5/14（日）～21（日）9:00～17:00 *初日は13:00から、最終日は16:00まで

第2G ■百合絵画教室友の会作品展 5/16（火）～21（日）9:00～17:00 *初日は13:00から、最終日は16:00まで

第2G ■第38回日本画グループ「彩」展 5/23（火）～28（日）9:00～17:00 *初日は12:00から、最終日は16:00まで

第1G ■花の教室花夢第10回自然の恵みで紡ぐ押し花作品展 5/24（水）～28（日）9:00～17:00 *最終日は16:00まで

第3G ■フォトクラブ遊遊「第24回写真展」 5/30（火）～6/4（日）10:00～17:00 *最終日は16:00まで

第1G ■墨絵の会展 5/30（火）～6/4（日）9:00～17:00 *初日は13:00から、最終日は16:00まで

第2G ■水彩画展「青野の風」 5/30（火）～6/4（日）9:00～16:30 *初日は13:00から、最終日は16:00まで



バーコード読み取り
（文化財センター情報）